
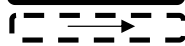




## 平成21事業年度 公立大学法人島根県立大学業務実績評価 評価点採点表

大中小項目	No.	H21年度計画	実績	法人評価点	事務局評価点	法人評価平均	事務局評価平均
II. 新たな大学構想の確立と実現に向けた取り組み				10	9	5.00	4.50
No.1	1)	大学院両研究科を統合再編し、新たに北東アジア開発研究科を設置し、新たな教育プログラムを実施する。	大学院研究科を統合し、特色ある教育プログラムを実施した	5	4		
	2)	理事連絡会議及び「3C1会議」により、新たな大学のあり方について検討し、「新たな大学構想」を策定する。	大学憲章を策定した	5	5		
IV. 自主的、自律的な組織・運営体制の確立				173	171	4.12	4.07
1. 業務運営の改善及び効率化							
(1) 運営、組織体制の改善による効率的、合理的な経営							
No.129		役員を構成メンバーとした連絡会議（理事連絡会）を定期的に開催し、理事長の意思決定を補佐する。	実施した	4	4		
No.130		全学運営組織の活動強化について検証し、可能なものについて、必要な調整を行い運営する。	実施した	4	4		
No.131		アドミッションセンターは、学生募集、AP公表、入試分析、特待生制度を実施する。	実施した	5	4		
No.132		キャリアセンターは、企画調整、アドバイザー配置、卒後のフォローアップ等を行う。	実施した	4	4		
No.133		FDセンターは、調査研究、啓発活動、研修会、授業評価支援を行う。	実施した	4	4		
No.134		地域連携推進センターは、総合相談窓口の設置・機能強化、公開講座、自治体等協力活動、広報強化、地域調査・産学官連携検討、地域貢献活動支援、連携事業支援、地域政策研究検討を行う。	実施した	4	4		
No.135		メディアセンターは、図書館運営・あり方検討、情報システム管理・整備計画検討を行う。	実施した	4	4		
No.136		保健管理センターは、研修会参加・実施、学生の健康状態分析、業務内容・HP活用検討、健康診断・健康管理体制整備を行う。	実施した	5	5		
No.137	1)	中期計画及び年度計画を踏まえて、公平で効果的な配分となるよう予算編成を行う。	実施した	4	4		
	2)	予算の管理・執行が効率的に行えるよう見直しを行い、機能的な執行体制を推進する。	実施した	4	4		
No.138		運営会議と専門委員会との連携を強化し、学内組織の合理化を検証する。	実施した	4	4		
No.139		テレビ会議システムを積極的に活用し、事務の効率化に努める。	実施した	4	4		
		テレビ会議室（仮称）を設置し、利用しやすい環境を整備する。	実施した	4	4		
No.141		各キャンパスの業務量を的確に把握し、変化に応じた組織及び人員配置の変更を検討し、必要に応じて法人プロパー職員を計画的に採用し、適正な人員配置を行う。	実施した	4	4		
(2) 人事の適正化による優秀な人材の活用							
No.143		必要に応じて就業規則の変更を行いながら、自立的効率的な運用を行う。	実施した	4	4		
No.144	1)	教員の採用は公募及び学長推薦とする。	実施した	4	4		
	2)	昇任についても、選考規定に基づいて、適正に運用する。	実施した	4	4		
No.145		中長期的な教職員の定数管理計画を検討する。	検討した	4	4		
No.147		特に必要と認める者について、任期を定めた教員の雇用を行う。	雇用（3名）した	4	4		
No.148		サバティカル研修実施細則に則り適正な制度の運用を図る。	実施した	4	4		
No.149		教員個人評価制度の試行結果を分析し、必要な修正等を加えた上で本格実施に向けた準備を行う。	H22年度本格実施することとなった	5	5		
No.150		教員個人評価結果を人事・給与制度に結びつける仕組みについて、財源及び処遇への反映方法を検討する。	評価上位者に対し、期末手当に加算する制度を設けた	5	5		
No.151		任期を定めない事務局職員を採用し、県からの派遣職員を計画的に削減する。	採用（5名）し、削減（6名）した	4	4		
No.152		採用計画に基づき、機動的な人員配置が行えるよう任期付事務局職員を計画的に採用する。	採用（2名）した	4	4		
No.153		一般的な研修を実施するとともに、中央研修を効果的に活用して、専門的な能力の開発に努める。	実施した	4	4		
2. 財務内容の改善による経営基盤の強化							
コスト意識の涵養、内部チェック体制等							
No.154		会計事務職員に対し会計研修を実施するとともにコスト意識を高めるための方策を検討する。	実施した	4	4		
No.155		内部監査人監査、会計監査人監査及び監事監査を実施し、大学運営の健全性、透明性を確保する。	実施した	4	4		
(1) 自己財源の充実							
No.108		各キャンパスで科研費等外部資金獲得研修会を開催する。	開催した	4	4		
		県立大：学長裁量経費獲得者に対し科研費申請を義務づける。	実施した	4	4		
		短大部：外部資金獲得に向けた取り組みを行う。	実施した	4	4		
No.156		文部科学省G P等への申請に積極的に取り組む。採択プログラムは全学的支援のもと事業を推進し、成果を広く公表する。	実施した（4件申請、うち2件採択）	5	5		
No.157	1)	共同研究・受託研究に関する規程整備に着手する。	実施した	4	4		
	2)	受託研究受入体制を検討し、合意に至った部分から受託し事業を実施する。	実施した	4	4		
No.158		学生納付金について、社会状況等を勘案し必要が生じれば額の変更の検討を行う。	検討した	4	4		
No.159		大学施設利用をHP等でPRしながら、使用料の確保を図る。	積極的な施設開放を行い収入増となった	4	4		
No.160		企業等から幅広く寄附金を受け入れる仕組みを整備・周知する。	実施した	4	4		
No.161		資金状況を把握し、効率的な金融資産の運用を行う。	実施した	4	4		
No.162		知的財産の管理に関するルールを引き続き検討する。	検討した	4	4		
No.163		前年度決算額検討のもと、自己財源比率を改善させる。	改善（+0.6%）した	4	4		
(2) 経費の抑制							
No.164		包括管理業務委託を実施するとともに（浜田C）、複写機等の一括調達に取り組む。	実施した	4	4		
No.165	1)	エコ・オフィス活動を推進する。	コピー用紙、上水道費が増となった	4	4		
	2)	エコ・オフィス実行目標を評価・見直し、省資源化の取り組みの検討を行う。	見直した	4	4		

-  法人評価点及び事務局評価点が「5」の項目  
 法人評価点を変更した項目  
 法人評価点及び事務局評価点が「3」の項目  
 平成20年度評価で「今後の取組みが期待される事項」の項目

平成21事業年度 公立大学法人島根県立大学業務実績評価 評価点採点表

大項目	中項目	小項目	No.	H21年度計画	実績	法人評価点	事務局評価点	法人評価平均	事務局評価平均
V. 評価制度の構築及び情報公開の推進						57	57	4.07	4.07
1. 評価制度の構築									
総合的な評価制度の構築									
		No.166	認証評価機関による認証評価に向けた自己点検・評価体制の準備を行う。		実施した	4	4		
(1) 組織を対象とした評価制度									
		No.167	評価委員会の業務実績に関する評価を法人及び大学運営等の改善に活用する。		活用した	4	4		
		No.168	学生・住民との意見交換を推進し、可能な部分から対応する。【法人対象】		実施した	4	4		
			学生・住民との意見交換を推進し、可能な部分から対応する。【大学対象】		実施した	4	4		
		No.169	1) 卒業生からWeb上で意見聴取等を行う。【法人対象】		実施した	4	4		
			卒業生からWeb上で意見聴取等を行う。【大学対象】		実施した	4	4		
			2) 卒業を対象としたアンケート調査を実施する。(浜田C)【法人対象】		実施した	4	4		
			卒業を対象としたアンケート調査を実施する。(浜田C)【大学対象】		実施した	4	4		
		No.170	短大部：自己点検・評価実施に向け、準備委員会を設置し、具体的準備に着手する。		準備を進めた	4	4		
		No.171	短大部：認証評価受験のため準備委員会を設置し準備を進め、実施機関等の協議・調整を行う。		準備を進めた	4	4		
(2) 個人を対象とした評価制度									
		No.149	教員個人評価制度の試行結果を分析し、必要な修正等を加えた上で本格実施に向けた準備を行う。		H22年度本格実施することとなった	5	5		
2. 情報公開の推進									
		No.172	1) 経営委員会、教育研究評議会の議事要旨を公開する。		実施した	4	4		
			2) 評価委員会評価結果に対する改善策を公表する。		実施した	4	4		
		No.173	情報公開規程に沿った適切な運用を実施し、透明性の確保に努める。		実施した	4	4		
VI. その他業務運営に関する重要事項						82	80	4.10	4.00
1. 広報広聴活動の積極的な展開等									
		No.174	1) 3キャンパス統合したHPを公開し、常に最新情報を発信する。		実施した	4	4		
			2) 学生・県民等に情報を効果的に発信する。卒業生向けの情報提供を充実させる。		学長定例記者会見を開始した	5	5		
		No.12	大学院案内等の英語版・中国語版を作成し、広報活動を促進する。		実施した	4	4		
		No.175	1) 県立大：卒業生データを整理し、同窓会支部の組織化推進などに活用する。		活動に在学生も加わった	5	5		
			2) 県立大：帰国留学生のネットワーク化を促進する。		情報収集に止まった	3	3		
			3) 県立大：地域との連携を強化する。		実施した	4	4		
			短大部：後援会と連携した実習、就職、進学、国家試験対策等を実施する。		実施した	4	4		
			短大部：同窓会組織を通じた在学生への進路・就職活動支援について協議し、協力を求める。		実施した	4	4		
			松江C：食育全国大会を通じ卒業生との連携強化を図り、健康づくり・食育関連組織設立を呼びかける。		組織設立を見送らざるを得なかった	4	4		
		No.176	モニター制度の創設に向けた準備を開始する。		開始した	4	4		
2. 施設設備の維持、整備等の適切な実施									
		No.177	施設設備の点検・更新を定期的に行い、財産保全対策を実施する。		実施した	4	4		
		No.178	出雲C構内電話システム他2件の更新事業実施する。		実施した	4	4		
3. 安全管理対策の推進									
		No.179	安全衛生管理体制を整備し、適切に運用する。		適切に運用した	4	4		
		No.180	1) さまざまな場面を想定した危機管理マニュアルに基づき、危機管理体制を整備する。		新型インフルや事件対応で危機管理体制を整備した	5	4		
			2) 学生寮火災訓練を計画的に実施する。		実施した	4	4		
		No.181	1) 個人情報保護規程等により、適切に運用する。		適切に運用した	4	4		
			2) 情報セキュリティポリシーの周知を開始する。		開始した	4	4		
			3) 情報セキュリティポリシーの教育を開始する。		開始した	4	4		
4. 人権の尊重									
		No.182	3キャンパスにキャンパスハラスメント防止委員会・相談連絡窓口を設置し、相談に当たる。		実施した	4	4		
		No.183	教職員や学生を対象とした人権に関する研修会等を実施する。		実施した	4	4		
総 計						322	317	4.13	4.06

- 5 法人評価点及び事務局評価点が「5」の項目
- 5 法人評価点を変更した項目
- 3 法人評価点及び事務局評価点が「3」の項目
- 4 平成20年度評価で「今後の取組みが期待される事項」の項目